

第1章 タッチタイピングをマスターしよう！

1-1 タッチタイピングとは

「タッチタイピング」とは、キーボードを見ずに文字を入力することです。



タッチタイピングを習得すれば、キーボードを見ながら入力するよりも、入力速度が速くなり、目や肩の負担も少なくなって、パソコンの操作がとても楽になります。

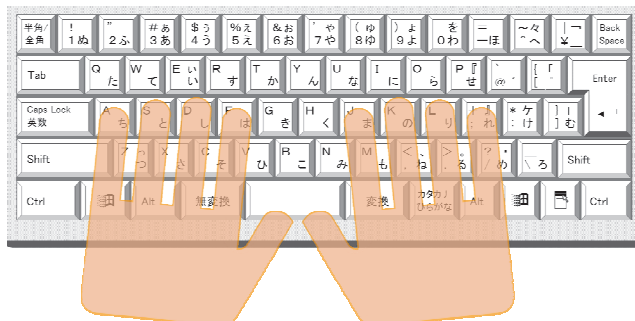
このテキストが終了する頃には、指が自然にキーボードの位置を覚えてくれますので、指の運動だと思って気楽に始めましょう！



リラックスしていこう！



1-2 ホームポジションについて







タッチタイピングの正しい指の位置を「**ホームポジション**」といいます。
次の手順に沿って、ホームポジションに指を置いてみましょう。



- ① 左手の人差し指を  キーに、右手の人差し指を  キーにのせます。

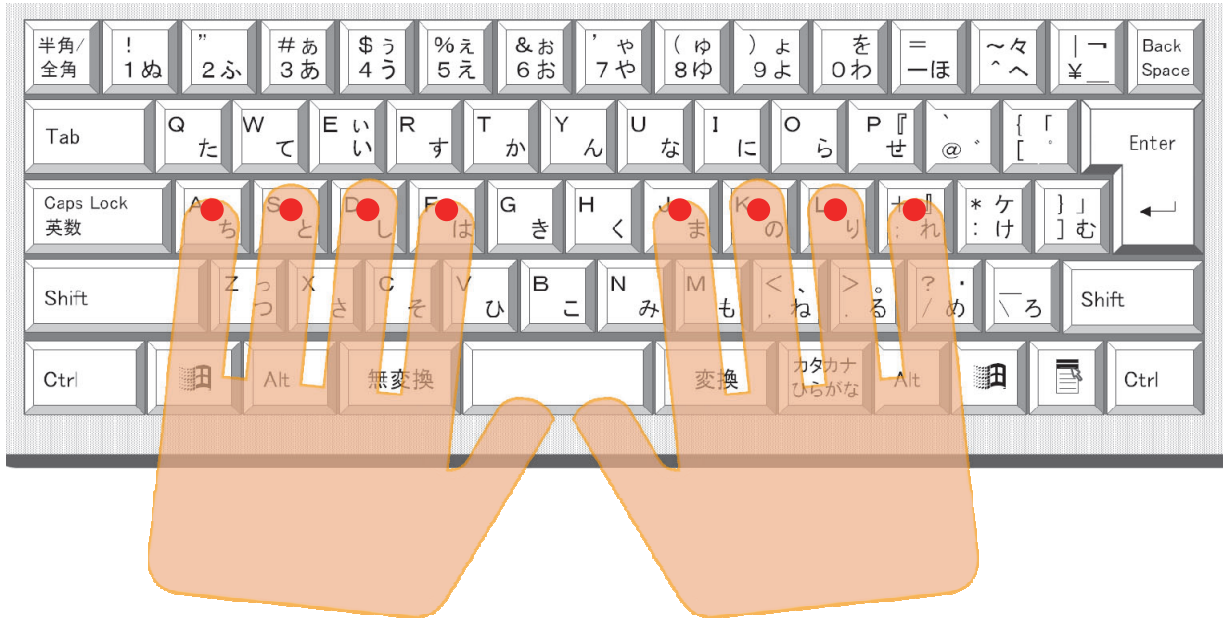
【重要ポイント】

 キーと  キーには、他のキーにはない突起があります。
この突起が目印となり、キーボードを見なくても、キーの位置がわかるようになっています。

- ② 左手の中指を  キー、薬指を  キー、小指を  キー、
右手の中指を  キー、薬指を  キー、小指を  キーに
のせます。
- ③ 親指は両手とも、スペースキーのあたりに軽く添えます。
(手は玉子を軽く握ったような形になります)
- ④ 手首は机の上に置いて、リラックスします。

できましたでしょうか。

ホームポジションは下図のように [A] [S] [D] [F] [J] [K] [L] [;] のキーになります。(下図の赤丸部分)



タッチタイピングでは、このホームポジションを基本にして文字を入力します。

今後、文字入力をする際は、まずホームポジションに指を置いてから、入力するように心がけましょう。

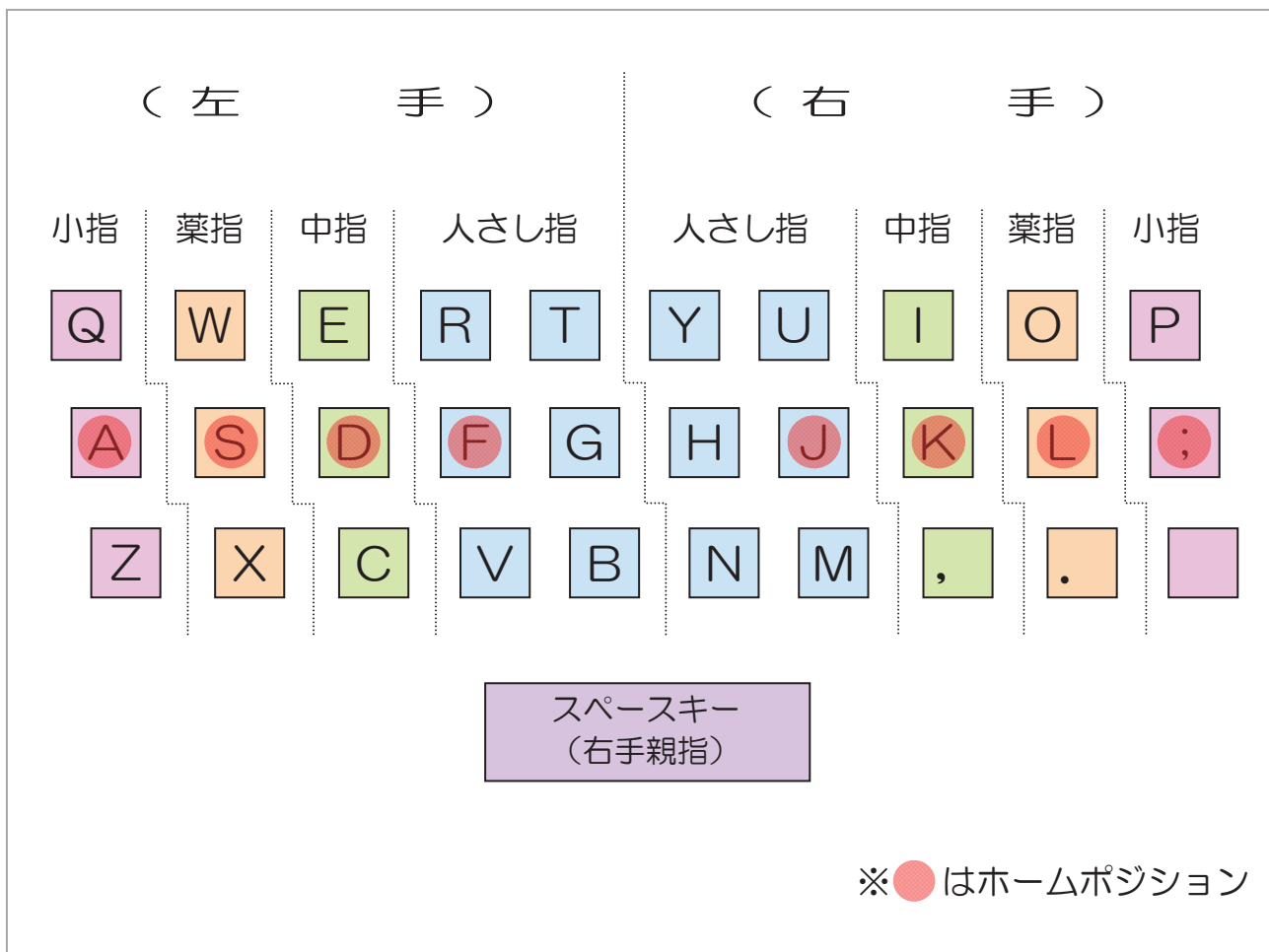
この指の位置が
ものすごく大事!



1-3 各指が担当するキー

ホームポジション以外のキーを入力するときは、指をホームポジションから離して入力することになります。

各指が担当するキーは、下図のとおりです。



ホームポジション以外のキーを入力した後は、また、指をホームポジションに戻します。入力後は、常にホームポジションに戻るよう心がけましょう。

初めのうちは指が思うように動きません。薬指や小指などは指が震えてしまうことでしょう。

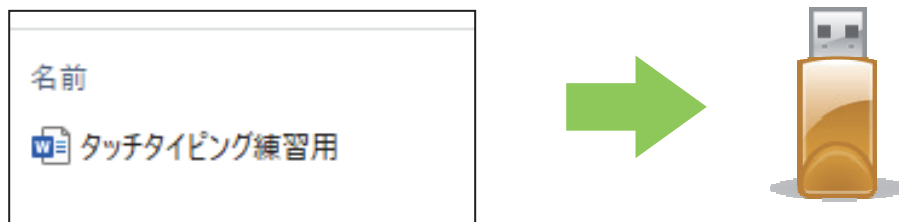
しかし、練習を続けるうちに必ず動くようになりますので安心してください。

第2章 テキストの進め方

本章では、入力練習を行うための準備と、テキストの練習方法について確認します。

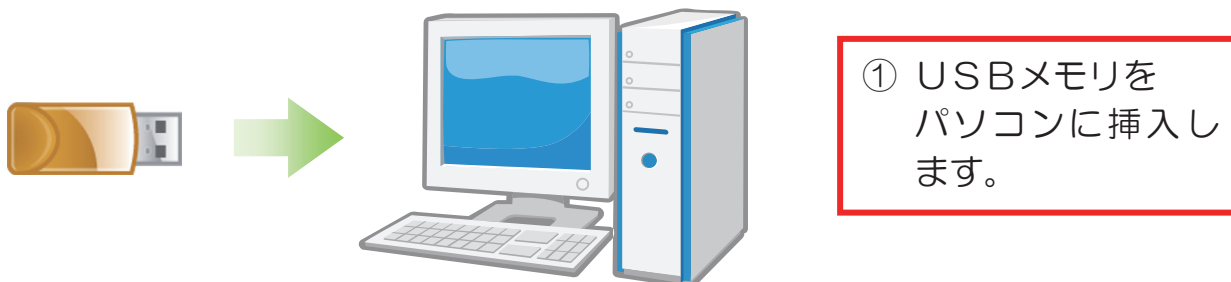
● 入力練習用のファイルを準備する

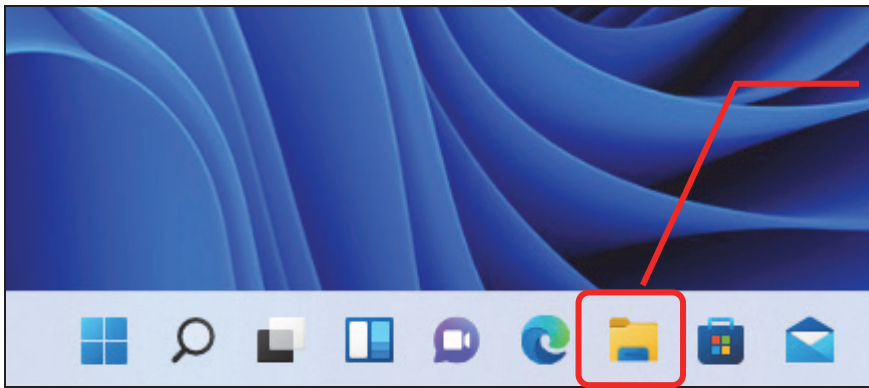
- ① タイピング練習で使用する「タッチタイピング練習用」というファイルを、先生に依頼して、自分のUSBメモリに保存してもらいましょう。



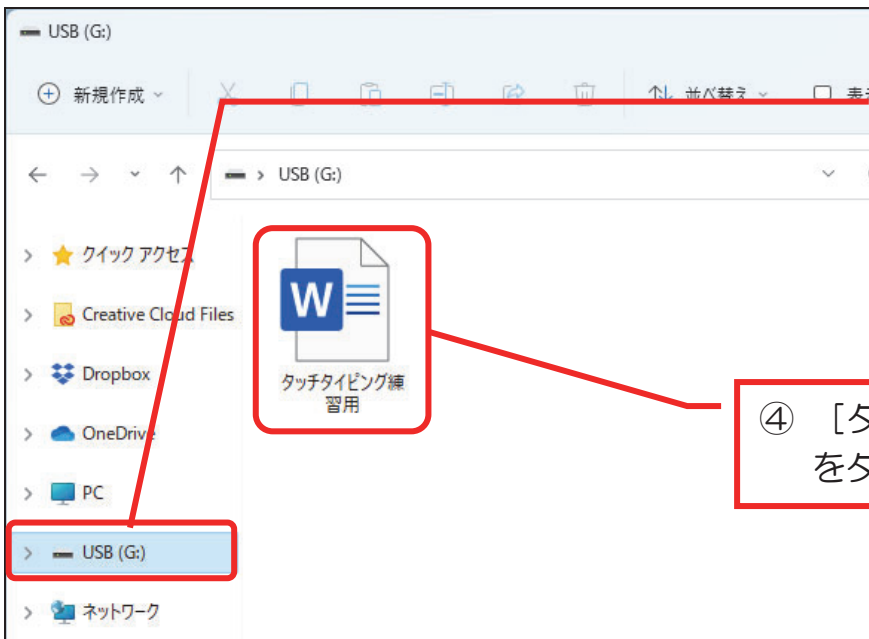
2-1 練習用のファイルを開く

入力練習用のファイルを開く手順を確認しましょう。



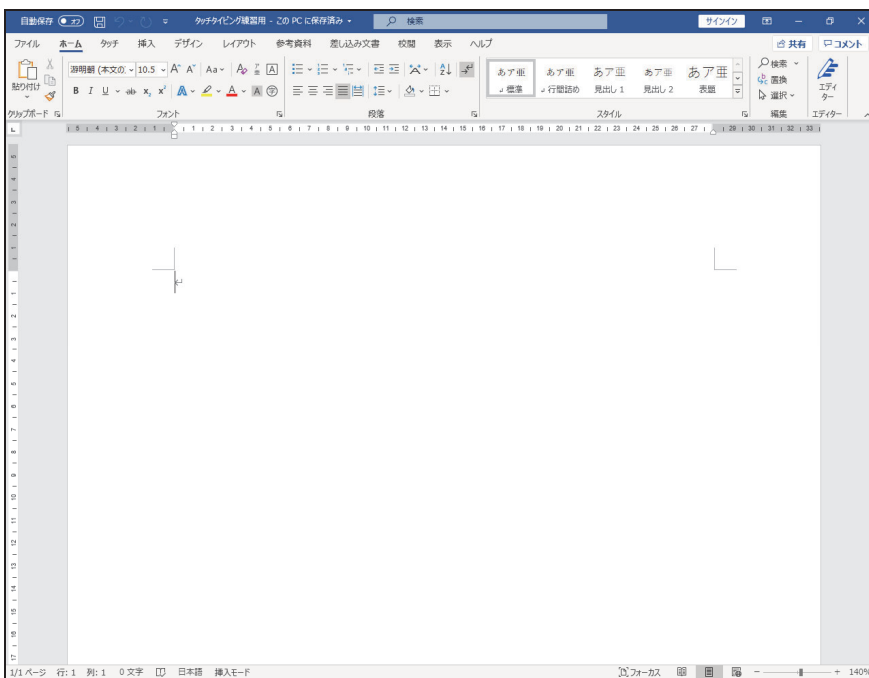


② [エクスプローラー]
をクリックします。



③ [USB] を
クリックします。

④ [タッチタイピング練習用]
をダブルクリックします。



⑤ 入力練習用のファ
イルが開きました。

※ このファイルは
テキストの内容に
合わせて、1 行の文
字数を [28] 字に
設定してあります。

お疲れさまでした。

これで2段目の練習は終わりです。

なお、前頁の【4】～【6】の練習では、同じ内容を入力しました。

【4】 ASA AKA SASA SAKA ...



【5】 あさ あか ささ さか ...



【6】 朝 赤 笹 坂 ...

このように、テキストを進めていけば、キーボードを見ずに日本語を少しずつ入力できるようになります。

あせらず、ゆっくり頑張りましょう！



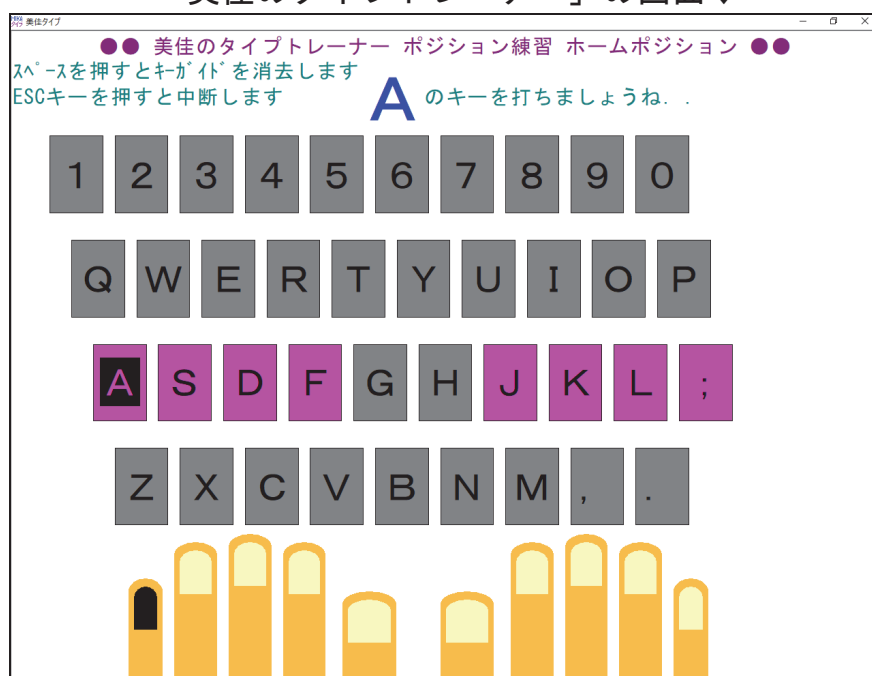
第4章 ソフトで入力速度を計る

4-1 入力速度を計る理由

テキストを進めるうちに、どれだけタイピングが上達したかを確認するために、入力速度を計って記録を残します。

テキストでは、入力速度を計るのに「美佳のタイptrレーナー」というタイピングソフトを使います。

「美佳のタイptrレーナー」の画面↓



このソフトは、画面に次々に表示される文字を入力して、60字を入力するのにかった時間を計ってくれます。

時間を計りますが、誰かと競うわけではありません。
気楽にゲーム感覚で取り組みましょう！





次回からは、授業の最初に「美佳のタイプトレーナー」を自分で開いて、前回最後に行った練習メニューを練習し、結果を記録表に記入してからテキストの続きを進めましょう。

例：前回の「練習メニュー」の最後が「1」だったなら
今回も「1」を授業の最初に3回行って、記録を記録表に書く

月	日	練習メニュー	記録	月	日
4	10	1	1 3 3 秒		
			1 2 7 秒		
			1 0 8 秒		
4	13	1	1 1 4 秒		
			1 0 9 秒		
			1 0 2 秒		
			秒		



受講のたびに記録していけば
次第に上達していくのがわかります！

第5章 3段目のキーの練習

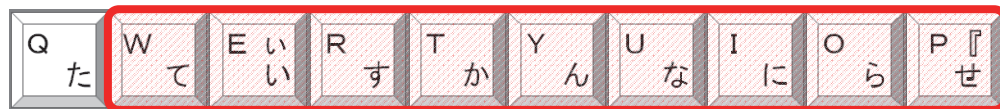
5-1 3段目のキーのポイント



3段目のキーを練習します。



3段目も、2段目と同じく、ほとんどのキーを日本語の入力に使います。



さらに、その中には、母音（ぼいん）のキーを4つ含んでいます。

（「母音」とは、「あ」「い」「う」「え」「お」のことです）

